



上・潜って採ったウニの殻を器用に割る大向さん
下・仕事の休日に海女センターを手伝う小袖妃香理さん(右)と夏休みに手伝った海女クラブの高校生
■海女センター (TEL54-2261)

わたしたちが守る海女
小袖の魅力を多くのの人に伝えたい



海女の伝統を受け継ぐ
みさき
大向美咲さん
(宇部町・19歳)

7月から海女センターで働く大向美咲さん。地元のを守るうと、後継者不足が叫ばれ続けた海女の世界に飛び込みました。

宇部町小袖で生まれ育った大向さんはこの春、高校を卒業したばかりの19歳。お父さんは漁師、おばあさんは地元でも有名な元海女で、海は小さいころから慣れ親しんだ遊び場でした。「海や山など自然が多く、人も温かい小袖が好き。高校を卒業しても小袖を離れようとは思わなかった」。

ある日、そんな大向さんの下に「海女センターを手伝ってみたいか」との誘いが。後

継者が見つからず苦勞していたことを知った大向さんは二つ返事で海女への挑戦を引き受けました。「小さいころから海女さんが潜る姿を見てきた。地元のことには地元の人で。不安より、やらなければという思いが強かった」。

観光客の接客はもちろん、海に潜ってウニ採りの実演も行う大向さん。毎日、一生懸命、海女の歴史と魅力を伝えていきます。「潮の流れが強いときや、水温が低いときなどは潜るのも大変。でもお客さんの歓声と喜ぶ顔が苦しさを吹き飛ばしてくる」。県外などから訪れる観光客との触れ合いが本当に楽しいという大向

さん。思いを語る表情は自然ときらり輝きます。

後継者不足に悩み続けた北限の海女。今、若い力が徐々に集まってきています。「海女クラブの高校生のほか、同級生も休日には手伝ってくれます。昔から小袖が守ってきた海女をここで途切らせたくない。小袖の良さをつなげていくため、自分も力になれば」。優しい声と瞳に力がこもります。

観光客に接することで再確認した小袖のすごさ。宝を守るのはわたしたち。これから大向さんは小袖が守る歴史と魅力を伝え続けます。

開催 親父と子どものアドベンチャー大作戦

親父も子どもも表情キラリ

親父と子どものアドベンチャー大作戦(親父と子どもの冒険実行委員会)は7月25、26日、内間木キャンプ場で行われました。キャンプを通して親子のきずなを深める同事業は今年で3回目。今回はこ

れまでで最も多い約80人の親子らが参加しました。キャンプのプログラムは宝探しや夜の森探検、ドラム缶風呂の入浴など、冒険心と遊び心にあふれたものばかり。竹で作った水鉄砲対決や、ヤ

マメのつかみ取りでは、大人も童心に帰って子どもと一緒に駆け回っていました。食事はもちろん手作り。親子らは、一緒に調理した鳥の丸焼きやピザなどをニコニコしながら口に運んでいました。



参加者はみんな家族のよう。作業中も自然と表情が明るくなります



川で水鉄砲。楽しい!



一緒なら魚だってさばけます!

2人の子どものを連れて初めて参加した浅水輝幸さん(侍浜町)は「親子の時間を作りたいと思った。自分のいろいろな面を見せ、子どもとのきずなを深めたい」と大張り切り。息子の玲志くん(侍浜小3年)と飛弥くん(5歳)は「お父さんと一緒にうれしい。いつも優しいけど今日は何だか格好いい」と喜んでいました。

主催した下館佳光会長は「子ども親父も良い表情。それが見られるのがうれしい。この人の輪がもっと大きく広がれば」と笑顔で期待していました。

交流 海の子、山の子みんなが笑顔



「ほら!そこにもウニいるよ!」船に乗って大騒ぎ。みんなでウニ採りを楽しみました

久喜小学校(澤田晶子校長・児童61人)と霜畑小学校(佐藤真校長・児童22人)は7月28日、久喜漁港で合同の漁業体験を行い、交流を深めました。参加した児童42人は久喜漁業生産部などの協力の下、定置網起こしの見学やウニ採りなどを体験。海の子も山の子も笑顔で海を楽しんでいました。

菊地海輝也くん(久喜小4年)は「自慢の海。ウニ採りをしてもっと海が好きになった」と大満足。大上拓哉くん(霜畑小5年)も「ウニの殻むきにも慣れた。海って楽しい」と目を輝かせていました。昨年からは始まった両校の交流。次回には秋に山の体験を行う予定です。

子育て支援センターだより

TEL 52-3210

- 9月後半～10月前半の予定■
- ◎ 9/28(月) 園開放「小久慈保育園」 10:00～11:30
 - ◎ 9/30(水) 作ってあそぼう! 10:30～11:30
 - ◎ 10/7(水) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
 - ◎ 10/14(水) ひよこ教室 10:00～12:00
 - ◎ 10/15(木) うさこちゃんの部屋 11:00～12:00

■利用案内■
◇対象…就学前の児童とその保護者◇利用時間…毎月～金曜日、8時30分～17時(土曜日は8時30分～13時30分)◇お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始◇利用料…無料

9/30(水)は「作ってあそぼう!」

10時30分から同センターで「作ってあそぼう!」を開催。一瞬にして絵が変わる不思議なカードを親子で楽しく作りましょう。申し込みは9月24日(木)まで。

図書館だより

今月の
オススメ
図書

《市立図書館》 「おつきみどろぼう」
ねぎしれいこ 作
世界文化社
お月見だんごをこっそり食べ歩くおばあさんが、ひよんなことからオオカミにだんご作りを教えることに…。お月見の夜に読み聞かせたい心温まる絵本です。

《山形図書館》 「わたしのおじいちゃんはチャンピオン」
カール・ノラック 文
イングリッド・ゴドン 絵
いずみちほこ 訳
セーラー出版
大好きなおじいちゃん。トロフィーもメダルも持っていないけど、わたしにとっては世界一!おじいちゃんの強さを描いた絵本です。

■休館日…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合は翌日)、毎月末日

《市立図書館 TEL53-4605》
■開館…9～19時(土日は17時まで)
●図書館映画会…「たぬきの糸車」などを上映
9/12(土)①10:00～②15:00～
●チビッコの部屋…絵本や紙芝居の読み聞かせ
①9/12(土)14:00～②9/26(土)14:00～
●資料展・岩手県郷土出版展 9/11(金)～20日
●資料展・歴史探訪-奥州をめぐる人々-
9/25(金)～10/4(日)

《山形図書館 TEL72-3711》
■開館…10～18時
●敬老の日おすすめ図書展 9/12(土)～27(日)

読書は家族のコミュニケーションの一つです。家族で本を読み、感想を話し合みましょう